

平成18年度第3回西区区民会議・議事録

I 日時・場所

日 時 平成18年9月2日(土) 10:00～11:30

場 所 西区役所2階 大会議室

II 出席者

(委員：16名 敬称略、50音順)

青木忠雄、池谷勝則、江口三郎、大須賀晤、岡部安男、小峰武久、笹本カホル、
関根明、関根英明、土橋章次、中嶋泰彦、浪江好治、平野初夫、廣瀬彌生、宮内潔、
横田明(欠席：今西誠一、永田悦男、松本譲二)

(事務局：8名)

上野区長、鈴木副区長、岩田健康福祉部長、
遠山コミュニティ課長、藤巻コミュニティ課長補佐、松田主査、市川主事、
コンサルタント

(さいたま市財政課：2名)

(さいたま市指扇まちづくり事務所：3名、都市再生機構：2名)

III 次第

1. 開会

2. 議事

※報告事項(前回議事録の確認等)

(1) 各部会の活動報告について

(2) 説明依頼事項

3. 閉会

IV 議事の概要

1. 第3回区民会議 確認事項等の概要

①各部会の活動状況や、今後のスケジュールが確認された。

②さいたま市財政課から、市の考え方について説明があった。

③新駅の駅前広場の整備方針について説明があり、意見を述べた。

2. 議事

(1) 各部会の活動報告について

各分会より、分会の活動経過について報告があった。

①基本分会

■都市基盤・交通分会

- ・『目玉づくり』と『仕組みづくり』の2つの視点から、さらに検討を深めている。
- ・『目玉づくり』については、7月21日の第4回分会にて、荒川・滝沼川・鴨川などの水辺を生かす方策を検討した。
- ・今後は『仕組みづくり』の検討に入り、わかりやすいPDCAサイクルづくりについて議論を進めていきたい。

■健康・福祉分会

- ・子育てマップづくりに関しては、現在、最終校正に入ったところである。今後印刷を経て、11月には配布する。
- ・健康セミナーについては、スポーツ振興分会と連携し、実行委員会形式で開催する。10月1日（日）に西部文化センターにて行うが、多くの参加者を得たいので、PRなどに委員の協力をお願いしたい。

■文化・コミュニティ分会

- ・西区のさんぽ道づくりについては、「ウォークラリー」コース案をスポーツ振興分会に提供した。
- ・話し合いのなかで、内野地区の「ウォークラリー」コース案も検討してしまおうということになった。来年度の「ウォークラリー」コース案づくりを通じて、西区全体、4地区のコースをさんぽ道の構想に盛り込もうというねらいである。

②アクション分会

■環境・防犯分会

- ・今年度事業として、「菊花展」「自然風景写真展」を企画し、内容を煮詰めている。
- ・「菊花展」については、西区ふれあいまつりと関連させ、内野本郷や木ノ下の愛好家との連携により実施することとなった。
- ・このほか、防犯関連の事業を検討中であったが、青少年育成さいたま市民会議西区連絡会・大宮保護司会・西区区民会議の共催という形で、青少年の健全育成をテー

マとした講演会を実施することとなった。

■スポーツ振興部会

- ・「健康セミナー」については、企画を健康福祉部会、実行をスポーツ振興部会が担当し、先ほど健康福祉部会から報告のあったとおり実施する。
- ・第3回ふれあいウォークラリー大会を12月10日に、また、ふれあいたこあげ大会を2月18日に実施する予定である。

■歴史・文化部会

- ・昨年度は、西区の歴史・文化資源をコミュニティに生かすという観点から啓発活動を行ったが、今年度は実地に見て歩く機会を織り込みたいと考えている。
- ・(仮称)文化財ガイドブックは、70ページ程度のハンディな冊子を2月に刊行する予定で、現在、原稿を分担して執筆しているところである。
- ・歴史講演会については、1月26日に秋葉先生を講師に招いて開催しようと考えている。江戸時代から戦後くらいまでをテーマとして開催したらどうかと考えている。
- ・見学会については、11月23日に植水地区にて開催することとなった。詳細については資料を添付してあるのでご覧いただきたい。

③広報部会

- ・「西区区民会議だより第10号」を、9月1日付けで発行した。
- ・11号を12月に発行する予定である。追って原稿依頼をするので、ご協力をお願いしたい。

議長：部会報告に対し、何か意見・質問はあるか。子育てマップについて質問するが、どのような手法で、何部配布するのか。

委員：11月1日の市報に織り込みで、区内全戸に配布する。

議長：防犯の講演会については、西警察署との連携は図っているか。

副議長：後援という形でご協力をいただき、冒頭に警察署の方からごあいさつをいただく。

議長：歴史講演会について、秋葉先生とはどのような経歴をお持ちの方か。

委員：大宮市史の編纂で、中核的な役割を果たした方である。県内の近代史ではリーダー的な存在であり、県立博物館の初代学芸部長も務められ、西区の土地勘もかなりあ

る方である。

(2) 説明依頼事項

①三位一体改革について

さいたま市財政課より、三位一体改革と市の考え方について説明があった。

- ・現在、国の三位一体改革が進められており、国はこの改革のなかで、歳出削減を目的として地方交付税交付金を削減しようとしている。
- ・しかし、削減するだけでは地方に必要な財源が不足し、一方的であるとさいたま市は考えている。このため市は国に対し、「国民にとって必要な行政サービスのあり方を地方と一緒に議論しましょう」と訴えている。
- ・また、市は「地方が自由に使えない補助金を減らして、その分、国の税源を委譲して下さい」と、国と地方の税配分の見直しを主張している。例えば、国庫補助金負担と規制を見直し、地方の自由度を高めることが考えられる。

説明について、次の意見・質問があった。

副議長：国はこう言ってきているが、市は反対なので、区民会議も一緒になって反対してほしいという趣旨か。

財政課：本日は、三位一体改革に対する、市の考え方をご説明にまいった。

②新駅北側駅前広場の整備方針について

さいたま市指扇まちづくり事務所（以下「事務所」）、および都市再生機構（以下「機構」）より、新駅北側駅前広場の整備方針について説明があった。

- ・新駅北側駅前広場は、平成18年度内に工事に着手し、2カ年かけて整備していく。西区らしい駅前広場となるよう、花と緑を象徴的に取り入れていきたい。なお、南口は、当面暫定的な整備を進める予定である。
- ・駅前広場の要素として、賑わい・バリアフリー・景観・維持管理がある。まちの「顔」を創出し、西区らしさを生かした良好な整備空間となるよう、整備計画を検討して

きた。

- ・計画のコンセプトは、「街を象徴するみどりの創造」「ゆったりと集える空間の創造」である。このコンセプトをもとに、平面イメージ図を2通り作成した。パターン1は眺望を考慮し、ランドマークとなる築山を中心とした整備イメージである。パターン2は人が集まることを考慮し、休憩施設や花壇の配置を行った場合の整備イメージである。花壇の管理を地元団体等に行ってもらいたい考え方があり、今後、調整していきたい。
- ・本日は区民会議の皆さんから意見をいただくが、それをもって直ちに決定ということではなく、今後、関係者の話を聞きながら、整備内容を決定していきたい。

説明について、次の意見・質問があった。

議 長：6月議会でも話題になっていたようだが、どのくらいの予算が必要なのか。また、駅舎の工事はJRが行うのか。

事務所：平成18年度は補正予算、平成19年・20年度は債務負担行為となる。用地費も込みで57億2千万円を見込んでいる。駅舎の工事はJRが行う。

委 員：遊歩道のようなものは整備されるのか。

機 構：一般よりも広めの幅4メートルの歩道とし、街路樹を植える。

委 員：身障者乗降場とタクシー乗降場が、駅エレベーターから遠くないか。

機 構：バス乗降場の間に、身障者乗降場、タクシー乗降場を設置するという考え方があるが、視界が悪くなるなどの問題もある。乗降場の配置については埼玉県警と調整中であるので、今の意見を県警に伝えたい。

議 長：駅北口広場は、「水と緑と花のまち・西区」の顔になるのだから、年中、花と緑があふれるような空間にしたらいと思う。そこで、区・区民会議・花植の団体等が連携して、花壇の管理にあたれないかと考えている。このことについては、区長さんも考えがあるようだ。

事務局：イメージとして、できれば、区民参加の花壇づくりや、西区らしい植栽ができないかという考えがある。

議 長：自治会としては、「新駅の駅名を西大宮駅としてほしい」という要望があるが、その後、何か駅名に関する情報はるか。

事務所：駅名は、JRが最終的に判断する。数年前までは「東西南北」が駅名につくことに消極的であったが、今はそうでもないようである。

委員：ホームの形態はどうなるのか。ホーム部分は複線か。

機構：ホーム部分は複線であり、いわゆる2面2線のホーム形態となる。

副議長：工事中は高い塀に囲まれることになるが、防犯上よくないという声がある。

機構：事業が加速しつつあるので、できるところから供用を開始し、平成25年をめどに完了したい。

議長：駅南口は、どのような状況か。

機構：現在、換地の作業中である。南口もまちの顔であることは変わらないので、水と緑と花のコンセプトを取り入れていきたい。

議長：換地は、いつ終了するか。

機構：平成19年度いっぱいにかかると思う。

委員：南口の区画整理の範囲は、どの程度か。

機構：約30haであり、概ね、大塚古墳から指扇第4踏切までの範囲である。

委員：バリアフリーについては、どのように対応するのか。それに緑と花はあって水がないように思うが、水についてはどうするのか。

機構：バリアフリーについては、法に基づき、エレベーター・触知案内板などを整備していく。また「水」については、例えば噴水の設置なども考えられるが、水・緑・花の全部を盛り込むのか、1つを象徴的に盛り込むのか検討していきたい。

委員：将来「区の木」が決まったときのために、区木を植えるスペースを確保しておいたらい。

機構：承知した。

委員：駐輪場については、どのように考えているか。

機構：用地の確保など、計画的に準備している。

※次回開催予定

平成18年度第4回区民会議は、平成18年12月1日（金）15：00より、西区役所にて開催する。

以上